

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 8月 29日

事業所名 放課後等デイサービス あひろば社

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			どうしても死角になってしまうスペースがある為、職員同士連携し死角をなくせるように努めています。	
	2	職員の配置数は適切である	6			適切な配置人数で営業出来ている。送迎に支障がないように調節しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6			児童のプライバシーが保たれるように工夫し考えていきたいと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			保護者の意向・意見を職員間で把握した上で、業務改善に繋げています。	全職員共通の目標・意向を把握し、それを見据えた支援・業務をより強く意識していきたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			弊社事業所のホームページにしっかりと公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			担当者及び第3者による評価を必ず行い、業務改善に繋げています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			月に1回のペースで業務や専門知識を高める研修を開き、職員や支援の資質向上に繋げています。	今後も積極的に研修に参加するだけでなく、どのような研修を望んでいるかもアンケートなどを使い、開催を検討していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			児童発達管理責任者又は児童の担当職員を中心に、児童・保護者・職員間で話し合い、客観的に分析した上で作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			保護者様との密な連携を図りながらも学校・病院等との情報交換も行うようにしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			プログラム作成者を中心に職員間で意見を交換し、プログラムを作成しています。	利用児童や保護者様の意見なども積極的に取り入れていきたいです。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			必ずミーティングの機会を作り、季節や現在の状況、目標（テーマ）に合わせたプログラムを提供できるようにしています。	保護者・児童の意見も取り入れ、新しい活動の場や内容を模索していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		個別の課題を設定し、平日は宿題・基本的な生活習慣に重点をおいて、また、長期休暇はイベント活動を積極的に行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			アセスメントや日々の生活習慣を基に各児童に適した個別活動・小集団活動を適宜組み合わせ、発達段階と状況に合う設定をしています。	個別と集団の活動をバランス良く組み合わせていき、児童がのびのびと活動できるようこれからも環境を整えていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			必ず朝礼をし、前日の出来事など情報共有を行い児童の現状を素早く把握して支援に繋がれるように努めています。支援内容を共有し一日のスケジュールを作り児童にもわかりやすく伝えています。	現場の状況に合わせた臨機応変な対応がまだまだ甘いため、全職員で意識を高めていきたいです。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		発生した事故・ヒヤリハットについては当日に些細な事も含めて振り返り、翌日や当日中に話し合いをして対応等を職員間で共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			正確な記録を取り支援内容に問題がなかったか、支援の改善に努めています。	一人の職員が書くのではなく、必ず全職員が携わり同じ職員がかぶらないように工夫、注意しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			定期的にモニタリングを行い、ご家族の意見などを伺い必要に応じて、計画書の見直しの必要性を判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児童の担当職員又は児童発達支援管理責任者、施設長が参画しています。勤務表・送迎表も工夫しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			行事予定表・下校時間表を頂いたり、緊急時には電話にて対応しています。その時に応じて日頃の児童の学校生活の様子も共有できるようにしています。	情報漏れがないよう、送迎時での申し送りにて確認したり、先生方とのコミュニケーションをさらに向上させます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6		現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れはしておらず、緊急時は保護者間との連絡体制のみになっています。	必要な児童に関しては、主治医等との連絡体制も整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1		移行支援会議に参加する事で、情報共有と相互理解に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2		必要な情報は提供できるようにしています。必要に応じてのアフターフォローなどもできるように態勢を整えています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			コロナ禍により参加に制限がありますが、zoomやyoutubeなどを利用し研修を受けられるように配慮しています。	業務に支障が出ない範囲で参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			6		現在、コロナウィルス感染防止対策の為開催出来てないです。長期休暇中を利用して交流を考えていきたいです。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			6		機会があれば参加していきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時や連絡帳などを通じて、学校の先生から伝えられたこと、事業所での様子を保護者の方に伝えています。	連絡帳をもっと活用し児童の小さな変化や気づきなどもお伝えできるようにしていき、必要に応じて面談の機会をさらに設けていきたいです。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			6		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時に説明しています。また、送迎時など急に質問されても答えられるように心掛けています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			こちらが立ち入れる範囲以内で送迎時や来所での面談・相談対応を行っています。	専門的知識を身につけ、もっと助言・アドバイスできるようにしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6				現在はありませんが、開催を考えたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情相談受付窓口を設けています。担当者を中心に対応し、職員間での会議を設け、保護者・相談員に伝えています。	同グループにも情報を共有し同じ苦情に繋がらないようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			弊社ホームページ・月のプログラムを通して発信しています。イベントや日々の活動の様子はブログにてお伝えしています。	保護者や児童からの要望も取り入れています。
	35	個人情報に十分注意している	6			十分に注意しています。契約時に説明した必要時以外には使用していません。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			障がいの特性に合わせた絵カード・送迎時・連絡帳を用いて伝達の配慮を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			地域の方にご協力いただき、田植えや稲刈りなどイベントを開催し、同事業所との交流は続けています。	コロナ禍で難しい時期もあるため感染状況をみながら今後も慎重に行っていけるようにしたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		6		流行型の感染症の時期には、定期的に注意喚起等のお知らせをしています。	緊急時、防犯マニュアル等是对応を明確にしています。職員同士で確認し合い、全員が把握できるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			定期的に避難訓練を行い、もしもの災害に備えます。災害マニュアルを作り職員に周知徹底を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		6			今後内部・外部での研修に参加予定です。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			必要とされる可能性のある児童の保護者には事前に説明、同意をいただいております。	必要性のある児童の個別支援計画のひとつとして記載していきたいです。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			フェイスシート・保護者を通じて確認できているものには対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			危険予測は常に朝礼やミーティング、終礼などで職員間で話し合い情報を共有しており、事故があった場合には報告書にて今後の対策を話し合っています。	